



©APDA

1995年 国際社会開発人口議員会議 (IMPPSD)

デンマークのコペンハーゲンで開催された国連主催の「社会開発サミット (WSSD)」にあわせて1995年には「国際社会開発人口議員会議 (IMPPSD)」を開催しました。現在、国際的な開発努力はミレニアム開発目標 (MDGs) に基づいて行われていますが、WSSD は、このMDGsを生み出したミレニアム・サミットに先駆け、貧困

撲滅・社会開発に焦点を当てて開催された国連主催の政府間会議です。この時も日本が世界に呼びかけてIMPPSDを開催し、WSSDに提言を行いました。この会議には安倍晋三首相も参加しました。安倍首相は国際人口問題議員懇談会 (JFPF) 初代会長の岸信介元首相の孫であり、第3代会長の安倍晋太郎のご子息に当たります。

なぜ国会議員が人口問題を扱うの？ (2)

一人ひとりが理解して行動するといっても、何もしなければ変化は起こりません。JFPFが設立された頃、アジアの開発途上国の多くで人口の急増が起こり、多くの子どもが生まれて医療も栄養状態も不十分な中、道端で死んでいくような現状がありました。このような悲惨な現状を何とかして改善しなければ

ならなかったのです。このような問題意識をもった国会議員たちは、行政や国際機関が強制することができない中で、各国の国民から選ばれて国政を担っている国会議員には必要とされる変化を作り出す可能性があることを自覚しました。

International Meeting of Parliamentarians on Population and Social Development (IMPPSD), Copenhagen, Denmark, 1995

In 1995, International Meeting of Parliamentarians on Population and Social Development (IMPPSD) was held in Copenhagen, Denmark in conjunction with the World Summit for Social Development (WSSD). Japan took the initiatives in organizing the IMPPSD, and the Copenhagen Statement

adopted by the participants was submitted to the WSSD. Among the participants was Japanese Prime Minister Shinzo Abe, whose grandfather Nobusuke Kishi was the first JFPF Chairperson and father Shintaro Abe was the third JFPF Chairperson.

Parliamentarians and Population Issues (2)

When JFPF was established in 1974, the population was rapidly increasing in many Asian countries, and many children were dying from malnutrition and lack of medical services. Witnessing

the misery with their own eyes, Japanese parliamentarians became strongly committed to addressing this issue for the welfare of people.

